



2020-2021 年度
1月号
NO. 388

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

**J E F
E F
Week4You**

国際会長：Kim Sang-chaе (Korea) 主題:「世界とともにワイズメン」
アジア太平洋地域会長：大野 勉 (神戸ポート) 主題:「100年を越えて変革しよう」
東日本区理事：大久保知宏(宇都宮) 主題:「変化をたのしもう！」
関東東部部長：大澤和子(所沢) 主題:「地域に世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワ」
東京ひがしクラブ会長：高野真治 主題「摂取不捨」～えらばず、きらわず、見すてず～

1月例会

と き 2022年1月13日(木)
18:30~20:30

ところ 東陽町センターYMCA ホール

受付:須田哲史

★プログラム

開会点鐘

ワイズソング/ワイズの信条

開会挨拶

副会長 千代一郎

食 事

今月の誕生日・結婚記念日

懇談

「飯田歳樹さんとの思い出を語ろう」

各種報告

閉会点鐘

副会長 千代一郎

★今月の誕生日

山口 紀子様 (6日)



2022年を迎えて

会長 高野真治

東京ひがしクラブの私たちにとっては、2022年1月1日は本当につらい年明けとなってしまいました。12月31日の飯田歳樹メンの告別式には、ひがしメンバーも参列させていただき、ご浄土へのお見送りができました。これからは東陽町センターの中やワイズ活動において、飯田さんのことが思い出されることが多くあるでしょう。その時にはいつでも私たちの近くにおいて、選ばず・嫌わず・見捨てず、支えていてくれる事でしょう。

さて 新型コロナウィルス感染が少なくなって来て例会も、続けて開くことが出来る様になってきましたが、しかしここにきて少しづつ増加傾向にあることが心配されます。ゲストの参加も毎回あり、皆さんの工夫された例会プログラムで楽しい会になっていることに感謝いたします。必ず会員増強に繋がると信じています。子ども食堂は来館での食事はまだ出来ませんが、それでも皆さんに喜んでいただける。その気持ちだけで私たちは喜びとして頑張っていけます。

新型コロナ禍で行動が制限されていますが、少しづつでも前に向かって進んでいく。その向こうには、必ず明るい希望の光が見えてきます。

🕊 今月の聖句 🕊

『兄弟の愛をもって互いにいつくしみ、

進んで互いに尊敬し合いなさい。』

—ローマ人への手紙第12章10節—

12月例会

出席者 13名 ゲスト 4名
会員出席数 9名
在籍数 13名
(広義会員2名)

ひがし会員出席率 82%

スマイル

12月 18,050 円

※YMCA 国際協力
募金へ献金

2021-2022 年度役員

会 長 高野真治
副会長 千代一郎
書 記 金丸満雄
会 計 須田哲史
担当主事 沖 利柯

ー飯田さんありがとうー



2000年7月東京ひがしクラブに入会。
いつも笑顔とユーモアで、ひがしクラブを牽引してくれました。
2019-2020年度国際協会表彰で、ブースター賞を受賞しました。(4名の会員獲得)

★飯田歳樹さんを偲んで、ひがしメンバーより思い出と感謝の追悼文を特集しました。

飯田歳樹メンに感謝して

須田哲史

最後の最後まで、飯田さんらしい生き方をされましたね。私たちの12月の活動では、クリスマスの奇跡を見せてもらいました。クリスマス例会では、一人一人に声をかけ、自らの治療を通しての回復の道を示し、クラブの未来への道筋に光をともし、励まされている声は、確実に届きました。ゲームでも、見事勝利して、プレゼントも総取りでした。翌日の下町こどもダイニングにも、参加する子どもたちのために食事の準備をするため、痛みをこらえながら、車椅子に乗って、事務所に駆けつけてくれました。その時の会話が、飯田さんとお別れの会話になるとは思いませんでした。

飯田さんは、羨ましいぐらい見本となる生き方上手な方で、私にとって、いつも大きな刺激をいただく存在でした。弛まぬボランティア活動。YMCA・ワイズを通しての奉仕への精神は、常に前へ向いていて、人を信じ、和を尊び、そして何よりも明るく楽しく活動をされる人でした。仕事や個人旅行以外の活動は、全て皆勤賞で、きっと「ひがし」は飯田さんにとっての最高の居場所だったのだと思います。そして、優れた経営者としての資質で、クラブに来て、飯田さんと会社の経営の話をするのが楽しみでした。全くの異業界でしたが、変化の激しい鉄鋼業界において、自身の会社の強み弱みを適確に把握されていて、常に変化対応力を持って、舵取りされていた姿は、今でも忘れません。景況感を五感で感じとり、一度決めたら、驚くような早さで、行動されていて、いつも手本にさせていただいていた。そして、もう一つは、加代さんとご家族を大事にされ、いつもその家庭愛の場に、私たちを招き入れてくれた事です。加代さんと飯田さんは、最高の相性で理想の夫婦。健康オタクの加代さんが生きていれば、もっと長生きできたのに…と悔や

まれます。富岡八幡宮例大祭への参加や佐渡の旅行は、飯田家の皆さんの多大な協力があってからこそ、実現していたことで、感謝の念にたえません。ひがしの公式・非公式の旅行も、皆勤賞でしたね。

最後に、東陽町センターの菜園の整備、ありがとうございました。飯田・金丸コンビによる菜園経営は見事に軌道に乗って、地域や、下町こどもダイニング事業にも、目に見えぬ心地よい風をたくさんもらいました。今は、飯田製作所でのじゃがいもファンドの積み下ろしの際に獲った柿やじゃがバターを食べたあの日のことを思い出しながら、元旦の朝、この原稿を書いています。

2022年の初日の出！すべてのことを、2021年に終わらせて、新しい気持ちで「明るく！楽しく新年を迎えよ」という飯田メンのメッセージを心に刻んで、頑張ります。

飯田さん！本当に、ありがとうございました。安らかに、天国で加代さんとお過ごしください。御礼と感謝を込めて！

本当に残念！

鮎澤正和

病氣と闘ってこられましたがこの様なことになってしまいました。加代メネットが亡くなられた時「僕の太陽がいなくなってしまう」と呟かれていました。加代メネットもそうですが飯田さんが亡くなられて私達も太陽を失くしてしまった思いです。飯田さんの人を惹きつける魅力でしょうか、周りにはいつも沢山の人がいました。飯田さんの代わりはいません。飯田さんは飯田さんです。そのことをしっかり胸に刻みつけておきたいと思います。「さよなら」は言いたくないです。今までありがとうございました。

何時までも一緒に！

竹内 聡

「ひがし愉快的仲間たち」は、ひがしの旅仲間のLINE名です。LINEには沢山の写真と思い出があります。その旅その時のエピソードが思い出された。北は稚内、利尻礼文島で食べた特大ボタンエビにびっくりしたり。南は熊本城、黒川温泉で馬肉を堪能した。石川では、晩から朝まで蟹、蟹尽くして腹一杯食べた。サイさん（LINEでの呼び名）は、どの旅行にも加代さんと一緒でした。旅行以外の沢山の思い出もあります。サイさん、天国に先に行った加代さんと一緒ですね。「沢山の思い出」ありがとう。葬儀場に飾ってた、ひがしの仲間との写真、サイさんと加代さんの熱々写真を見て、目頭があつくなった。いつもひがしの仲間を愛し、沢山の仲間を何時でも大切にしていたサイさんありがとうございました。天国でお酒飲んでますか。私たちは、いつまでもサイさんと一緒にいますよ。

残念だ！

野澤一弘

もう会うことが出来ないなんて、私より10才も若いのになあ・・・

私がいったんひがしクラブを退会したのは、もう20年ほど前になるが、飯田さんが加代さんと連れだって毎月のクラブ例会に出席していたのを覚えている。その時私は60代で稼がなくてとは夢中になっていたのと、

自分の気持ちの上で余裕がなくなり退会したのだった。暫くたち、私の子供達も、また伴侶になる相手に恵まれて結婚をしたことや、仕事の目先も見えて来たこともあり、金丸さんがまめに退会者宛にひがしプリテンを郵送してくれる恩恵に預かり、その中で飯田さんが佐渡に金丸さんと海遊びでアワビを採ったり等の記事を見、まったく羨望したものだった。その年度のひがしクラブ入会者が4人とかで、東日本区大会にて壇上に上がって会員増強賞の晴れの舞台が飯田会長の在籍時に花を添えられた。

繰り返すが全く惜しい人が早くこの世を去ったものだ。まだ書き足りないが最後のお別れの棺に入った顔が何時までも忘れないであろうと思います。

ずっと大好き！

沖 利柯

飯田さんには初めてお会いした時からずっと癒され、そしてたくさん笑顔にさせていただきました。

飯田さんの人とはちょっと違うユニークな発想にはいつも驚かされました。その一つにダイビングのウエットスーツがあります。なんと前開きジッパー！これは合理的ですが誰も着ているのを見たことがありません。飯田さんの特注品でした。発想力に加えて、その行動力でさまざまなことが実現していきました。YMCAの机を運ぶ台車、EM団子、子どもダイニングの農園など。ただYMCAのテラスにピザ窯をという提案を却下してしまったことが、少し悔やまれます。

公私共に色々なところに連れて行ってくださったり、体験させてくださったり、私の世界をぐーんと広げてくださいました。楽しかったことしか思い出せません。あの強面からは想像できない優しく無邪気な笑顔にもう会えないと思うと、本当に胸が締めつけられるような悲しみしかありませんが、きっと天国で加代さんと手を取り合って笑っていらっしやるのだと思います。

飯田さん、本当に有難うございました。これからもひがしクラブとYMCAを見守っていてください。ずっと大好きです。

思い出

山口 隆

飯田さんの訃報に際しまして、謹んでお悔やみ申し上げます。

飯田さんが東陽町ウエルネスセンター開館時から会員として通われていたことを思い出します。その後、ひがしワイズで一緒にさせていただきました。例会やオープンハウス、区民祭りなど精力的に、楽しんで活動されていたと思います。仕事でもプライベートでも「何事も楽しまないね。」と言われていました。まさに楽しく生きることを実践されていたのでは、私もそうでありたいと思います。また、青森や夕張のスキーも一緒にさせていただき楽しい時間でありました。

これまでのワイズ・YMCAへのご奉仕、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

飯田さんありがとう！

野本多美子

楽しかったよ！佐渡キャンプ。山形の農業体験。枝豆の種を植えたら、次の日ツガイの鳥に食べられてしま

いましたね。楽しい事たくさん教えてくださいました。

飯田さんは、ひがしクラブのムードメーカーでした。病気に勝って戻ってくださると思っていました。ひがしクラブにとってなくてはならない人なのに。飯田さんが植えた柿の苗木は、記念樹になってしまいました。

たくさん、たくさんありがとうございました。

大切な友人

千代一郎

飯田さんと一緒に、こどもダイニングをこれからもずーとやることができないとは、いまだに信じられない気持ちで一杯です。飯田さんとは、小生の曾っての職場（茅場町）近くの居酒屋でお会いして以来、20年以上のお付き合いでした。6年前に佐渡ヶ島のテント合宿に誘って頂いたのがご縁で本クラブに入会し、沢山の楽しい仲間とめぐり会うことができました。又、北海道の利尻島、礼文島や九州の五島列島などの素晴らしい旅行にも一緒にできたことは貴重な思い出です。飯田さんは、小生にとって仕事の仲間であり、大切な友人であり、心から深く感謝しています。

これまで本当にありがとうございました。また、居酒屋でお会いしましょう。

お世話になりました

関 登志子

私の中の飯田さんはいつも加代さんと一緒。例会、行事、旅行とお二人一緒での活動は本当にクラブにとって大きな力でした。仕事大好き人間で、社長として長く立派にこなされてきた飯田さんですが、旅行では加代さんに「忘れ物は？」とチェックを入れられ素直に従っている姿が微笑ましかったです。飯田さん本当に長い間お世話になりました。加代さんと天国で又仲良く過ごされて下さい。

いつまでもバディ！

金丸満雄

飯田さんが入会して間もなく、佐渡キャンプに誘われ初めて佐渡島に渡りました。以後佐渡の魅力にはまり「佐渡海洋研究」と名乗り、約20年間夏の佐渡島に行きキャンプを楽しみました。その時の体験がきっかけとなり、スキューバーダイビングのライセンスを取得しました。ダイビングには「必ずバディ（仲間・相棒）と呼ばれるパートナーと二人一組みになって、互いに助け合いながら行動し事故を防ぐ」バディシステムがあります。初ダイビングの伊豆大島で、ダイビング先輩の飯田さんとバディになり、それ以降ダイビングを離れても、寄り添って温かく支えてくれました。飯田&金丸はいつまでもバディです。

洪い声で歌う飯田さんの十八番、“宗右衛門町ブルース”が聴こえてきます。

♪いちょう並木に 春が来る
君にも来るよ しあわせが
なぜかかなしい 宗右衛門町よ
さよならさよなら もう一度だけ
明るい笑顔を みせとくれ

歳樹兄い、どうぞ安らかに・・・

12月例会(クリスマス)

竹内 聡

12月16日18時30分より、東陽町センターYMCAホールで「クリスマス例会」が行われた。いつもならゲストを招待したり沢山の人で楽しむクリスマスは、コロナ禍が続く時なので会員でクリスマスを祝った。例会には長期入院していた飯田ワイスがコメントと孫メットと一緒に来てくれ、飯田ワイスを中心に記念写真を撮ることが出来た。(最後の写真となったことが残念です)

クリスマス例会は、沖担当主事から「4福音書とイエス」の奨励を頂いた。高野会長の開会挨拶で例会を始めた。食事中、朝ドラ「おかえりモネ」で藤竜也が演じた牡蠣の扱いを指導した、NPO法人「森は海の恋人」代表畠山重篤の気仙沼市唐桑にある私有地「汽水域」の話が竹内が紹介した。舞根湿地と河川護岸工事で「海であり川でもある汽水域」を作り、震災10年経つ今は、メダカ、ハゼ、赤エビ、ウナギ等が汽水域に増殖した。この現象は人為的な改変であっても、その場所を好む魚種が、京都大学の研究で湿地造成の手がかりとなるデータが得られ全国各地の汽水域の研究に役立っている。また、森林が地下に鉄分を多く含む水を作ることが分かり、川となって海に栄養が注がれてカキ、ホタテ、昆布等に栄養を与えて養殖業に働く人たちが森作りに協力している。

食事後、沖担当主事の「あなたの病名を優しく教えてあげて」ゲームでは、病名を上手く伝えることが出来ず、優しく教えた人は僅かでした。プレゼント交換は、的の点数にボールを当て合計点数で行った。

談話とゲームで楽しい例会を過ごした。スマイルは「国際協力募金」に献金した。最後に千代副会長の閉会挨拶で終了した。



YMCAニュース

担当主事 沖 利柯

▼スキーキャンプ実施

12月から3月にかけて、合計12のキャンプ(スキーキャンプ、デイキャンプを含む)を、コロナ感染対策を講じて実施します。2年ぶりの再開となったスキーキャンプは、積雪量の多い2月~3月のみに行う予定です。夏期に続きフレンドシップファンドを活用し、コロナ禍等で経済的に困難なご家庭には参加費を補助することとしています。

▼第16回子育て講演会

「ポストコロナ・これからの時代に向けて！子育てで大切にしたいこと」と題してNHKすくすく子育て講師の汐見稔幸先生を講師に迎え、子育て講演会を実施します。YMCAが大切にしてきた人と人との関わりが薄れてゆく中、どのような変容があるのか、家庭においても子どもとどう向き合っていくべきかなどお話しいただきます。

日時 2022年1月29日(土)10:00

*オンラインに配信にて実施します。

申込 <https://goo.gl/aEFxk2>

興味深い内容となっております。是非ご参加ください。

▼クリスマスミニオープンハウス報告

12月12日、東陽町センターと社会体育・保育専門学校を会場に、「クリスマスミニオープンハウス」を開催しました。コロナ対応として例年に比べ規模を縮小し、時間も短縮して、恒例のバザーをはじめ、子どもコーナー、模擬店(持ち帰りのみ)、おもちゃ病院、ラケットボール大会、各種展示などを行いました。このような状況下での開催に心配していましたが、お天気にも恵まれ約1,500人が来場して下さいました。

開催前から今年は実施するののかとの問い合わせも沢山いただき、本当に感謝です。益金約50万円は、子ども食堂などの地域プログラム、国際協力募金、青少年リーダー養成、災害復興支援、備品購入に用いる予定です。

準備から当日の模擬店までご協力いただいた東京ひがしクラブのメンバーの皆様、本当に有難うございました。今年はいつも当たらないラッフル抽選会で、クラブメンバーの皆さまが沢山当たっていたのにびっくりしました。

